

ふくしまデジタル 推進協議会 【第2回】

日時：令和4年11月30日（水）16時～
場所：エルティ ウエディング・パーティ エンポリウム
1階スクエア南

ふくしまデジタル推進協議会名簿（出席者21名※代理出席含む）

- 2 -
(敬称略)

分野	No.	所属・役職	氏名	備考（代理等）
行政	1	福島市長	木幡 浩	
経済	2	福島商工会議所 会頭	渡邊 博美	代理：勝瀬 晴宣
	3	福島市商店街連合会 会長	小河 日出男	
地域	4	福島市自治振興協議会連合会 会長	吾妻 雄二	
学術(まちづくり)	5	福島大学 地域未来デザインセンター長	鈴木 典夫	代理：岩井 秀樹
学術 (地域連携)	6	福島学院大学	調整中	欠席
	7	桜の聖母短期大学 地域連携センター長	岩本 正寛	欠席
医療・福祉	8	福島市医師会 会長	岡野 誠	欠席
	9	福島県立医科大学附属病院 医療情報部 部長	井高 貴之	
	10	福島市地域包括支援センター連絡協議会 会長	佐藤 佐知子	
農業	11	J Aふくしま未来 代表理事組合長	数又 清市	欠席
教育	12	福島市教育委員会 教育長	佐藤 秀美	
保育	13	福島市私立認可保育施設連合会 会長	山崎 麻弥子	代理：幕田 晋市
幼稚園	14	福島市私立幼稚園協会 理事長	細谷 實	代理：齋藤 悟
交通	15	福島交通(株) 代表取締役社長	武藤 泰典	代理：八巻 健
	16	福島県タクシー協会県北支部 支部長	大村 雅恵	
観光	17	福島市観光コンベンション協会 会長	渡邊 和裕	
高齢者	18	福島市シルバー人材センター 理事長	川浪 廣次	
女性活躍	19	福島カラー印刷(株) 代表取締役	渡辺 泰子	
デジタル	20	NTT東日本 福島支店長	畠山 良平	
	21	(株)福島県中央計算センター 代表取締役社長	河原田 浩喜	
	22	(株)インフォメーション・ネットワーク福島 代表取締役社長	高橋 信夫	
	23	朝日システム(株) 代表取締役社長	成茂 彩生	
先進的取組	24	(株)カトウファーム 専務取締役	加藤 絵美	
	25	BlueOcean&Company(株) 代表取締役会長	奥本 英樹	

～ 次 第 ～

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 推進協議会の活動経過について

(2) 今後の取組等について

①推進項目の推進と会員間マッチングサポート

②分科会の設置

③先導的プロジェクト

④ふくしまデジタルサポートデスク

⑤福島市デジタル人材バンク

(3) 福島市デジタル都市宣言（案）及びデジタル推進体系（案）について

(4) その他

4 閉 会

※閉会后、懇親会会場（1階スクエア北）で福島市デジタル都市宣言の
集合写真を撮影

(1) 推進協議会の活動経過について

日時	会議等名	場所等	内容
7月11日(月) 10時より	デジタル推進協議会 (設立総会・第1回)	市役所庁議室	デジタル推進協議会の役割と今後の取組、意見交換等
7月28日(木)	推進者会議 (第1回)	市役所庁議室 ※一部ズーム参加	第1回協議会の振り返り、推進体制の確認、分野毎個別に取り組む「推進項目」の作成依頼、デジタルサポートデスクに係る意見交換
9月27日(火)	推進者会議 (第2回)	コネクト大町 ※一部ズーム参加	推進項目の確認(5頁～8頁参照)、先進自治体事前調査(案)、デジタルサポートデスク(案)及び分科会設置の検討
10月24日(月) ～25日(火)	先進自治体事前調査①	神戸市 (兵庫県)	先導的プロジェクト開発に向けた先進自治体事前調査 ○調査内容：PHRを軸とした地域医療のデジタル化 ○調査メンバー：4名 ・井高部長(県立医大)、佐藤副支店長(NTT)、事務局2名
10月26日(水)	情報発信・共有する 「場」の運用開始	—	WEB上に協議会の取組等をオープンに情報発信・共有することができる「マイクロソフトTeams」の運用開始
10月28日(金)	先進自治体事前調査②	市原市 (千葉県)	先導的プロジェクト開発に向けた先進自治体事前調査 ○調査内容：子育て支援アプリ母子モ(※本市名称「えがお」)を活用した子育て支援のデジタル化 ○調査メンバー：5名 ・瀧澤副部長(FCC)、岡崎主任(INF)、高橋取締役(朝日システム)、事務局2名
11月8日(火)	分科会設置	—	先導的プロジェクト開発分科会の設置、検討開始
11月25日(金)	デジタル推進者会議 (第3回)	リモート開催	第2回デジタル推進協議会資料内容の確認(福島市デジタル都市宣言案等)

(参考) 分野毎個別に取り組む推進項目

○9月下旬にデジタル推進者会議の各メンバーより提出いただいた分野毎個別に取り組む「推進項目」の内容等を整理したもの

No.	企業・団体名	現状と課題	推進項目等
1	福島市商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・当所で決算申告支援をする個人事業者の約7割が経理を手書きで行っている状況。 ・会計ソフトの導入やクラウド化を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員事業者向けのパソコン教室やインターネット活用セミナー等の開催。
2	福島市商店街連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・年配の方のデジタル化への意識改革が必要。 ・キャッシュレス化が進んでいない。 ・SNSやWebサイト等を活用した情報発信が出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年配の方へのサポート体制の構築。 ・キャッシュレス化導入率アップ ・デジタルによる情報発信と情報発信スキルの向上
3	福島市自治振興協議会連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会会員間の情報格差がある状況での情報伝達とデジタルとアナログの共存をいかに進めていくかが課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各町内会及び会員のデジタルへの理解度向上。 <p>⇒9月下旬より各地区で実施する「高齢者等スマートフォン利活用支援講座」へ参加 ○11月17日現在：338人参加／44回</p>
4	福島大学	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の理解をいかに深め、高めていくかが地域の課題。 ・デジタル化を活用して、より付加価値の高い産業として回していくかが行政課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業競争力の強化、豊かな地域づくりの観点からのDX。 ・例えば、中小企業の事業開発、起業家育成、企業の生産性向上、デジタル人材の確保等。
5	福島学院大学	<ul style="list-style-type: none"> ・書類文化、ハンコ文化を見直し、必要最低限にする必要がある。 ・活発な議論を伴わない会議の是正。 	<ul style="list-style-type: none"> ・従来のデジタルリテラシー教育のみならず、DXの本質を理解している学生の育成と従来のやり方から変えることのできる学生の育成。
6	桜の聖母短期大学	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に貢献できる人材の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学で学んだ学びがそのまま業務に活かせるような人材の育成。

No.	企業・団体名	現状と課題	推進項目等
7	福島市医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピューターウイルス、サイバー攻撃等へのセキュリティ対策が大事。デジタル推進のためには利便性とともにも安全性について対策をとる必要がある。 ・オンライン資格確認の課題とともに個人情報保護とセキュリティの問題が重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカード取得の広がり注目しながら必要な対策をとっていく。 ○参考 マイナンバーカード普及率（10月末） 国：51.1% 福島市：50.4%
8	福島県立医科大学 附属病院	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン資格確認とマイナンバーカードの保険証利用、電子処方箋の普及が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・患者の効率・効果的な受診に資するデジタル化。
9	福島市地域包括支援センター 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有やコミュニケーションを図る上で、対面とオンラインをバランスよく使い分ける必要がある。 ・支援者側も高齢者側もまだまだデジタルに苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者がデジタルを活用できるよう各地域や団体でスマホ教室の開催。
10	ふくしま未来農業 協同組合	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の組合員は、デジタル化についていけない部分がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者組合員を対象としたスマホ教室などを幅広く開催。
11	福島市教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員にタブレット端末活用の差が生まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員、各学校に応じた訪問研修の実施。 ・授業での教職員のタブレット端末活用のスキルアップ。 ・児童生徒のタブレット端末の日常化。
12	福島市私立認可保育施設連 合会	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちにどんな風にデジタル化を教えていくかが大事。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育現場のICT化等は始まったばかり。各分野の取組を参考としながらデジタル化を進めていく。
13	福島市私立幼稚園協会	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園協会、幼稚園側として、子どもや保護者、教員など、どこに焦点をあててデジタル化の取組を進めていくかを考えている状況。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本一子育てしやすい市を目指し、乳児・幼児・児童・生徒・学生に係る組織と連携しながら進めていく。
14	福島交通(株)福島支社	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に伴う郊外部の公共交通維持が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利便性の高いICカード（NORUCA）、VISAタッチ、バスロケーションシステムの高齢者利用の推進。 ・デジタル化による業務の効率化推進。

No.	企業・団体名	現状と課題	推進項目等
15	福島県タクシー協会県北支部	・市内のタクシー会社間でデジタル化への対応の差があるのが課題。	・デジタル化、アプリ配車、キャッシュレス決済対応、安全性を担保するための機器導入等に業界全体として努力していく。
16	福島市観光コンベンション協会	・市内事業者はデジタル化に抵抗のある方が多く、情報伝達手段はFAXや電話が多い。	・IT、女性視点を取り入れた効率的な誘客方法を進めていくためデジタルマーケティングやSNS等を使った情報発信のスキル提供。
17	福島市シルバー人材センター	・会員等のICTスキルや知識の向上を図る必要がある。	・情報発信や情報検索のスキルアップやLINEを含むメール等の活用方法など会員のICTスキルの向上。 ・ICTに詳しい会員で構成する「ICT班」の新設とICT関連業務の受注。 ・センター内部の業務効率化のためのセンター職員のスキルアップ。 ⇒全国的にも珍しい取組として高い専門性を目指す会員でつくる職能班に「ICT班」を新設し、9月に活動をスタート。 構成メンバー：63～78歳の会員17人。 10月28日にICT講座実施。
18	福島カラー印刷(株)	・テレワークの推進に取り組んだことで、子育てや介護等をしながら、収入面で大きく下がることなく活躍できる働き方の仕組みができてきている状況。 ・テレワーク導入に伴う情報システム等のスキル習得支援が課題。	・女性だけでなく誰もが活躍できるような働き方の推進。
19	NTT東日本 福島支店	・地域の活性化や持続的な地域の発展に繋がるようなデジタル化を推進する必要がある。	・データを共有し、相互利用することでデータ自体の付加価値を高めていけるようなデジタル化の推進。
20	(株)福島県 中央計算センター	・65歳以上の高齢者は他の世代と比較し、デジタル機器に触れたり、学ぶ機会が少なく、使いたいけど不安とを感じる方も多いことから、利用することができるような対策が必要。	・高齢者の情報リテラシー向上を図り、デジタル化の底上げに繋がる取組のサポート。

No.	企業・団体名	現状と課題	推進項目等
21	(株)インフォメーション・ネットワーク福島	<ul style="list-style-type: none">・地理的制約や経済的な要因でデジタル利用ができない方を意識しながらデジタル化をいかに進めていくかが重要。	<ul style="list-style-type: none">・市民へデジタル化の便利さや重要さを広げる取組の推進。・デジタル推進協議会会員の課題解決サポート。
22	朝日システム(株)	<ul style="list-style-type: none">・ベンダーの働き方や役割も大きく変化し、得意技と行動力を持ったベンチャーが台頭してくる世の中となっている。	<ul style="list-style-type: none">・昨年立ち上げたイノベーション部門を中心に地域のDXをサポート。・クラウドサービスの活用が急速に広がっていることに危機感を持ってデジタル化を推進していく。
23	(株)カトウファーム	<ul style="list-style-type: none">・農業分野は「紙」の手続きが変わらず非常に多い。	<ul style="list-style-type: none">・これまで取り組んできたオンライン販売、HP作成、営農支援ツール「アグリノート」、e-Taxに加え、SNSにも力を入れる。
24	Blue Ocean&Company (株)	<ul style="list-style-type: none">・人間のよさ、人間のパワーがあってデジタルが圧倒的に良くなる。弊社が取り組んでいる仕組みはデジタルとアナログの融合。人生がデジタルによっていかに豊かになるかを実現することが重要。	<ul style="list-style-type: none">・効率化のDXと新しい付加価値をつくるDXを両輪で進めることにより、多くの市民が豊かな地域社会を実感してもらえるようなフィールドをつくる。

(2) - ①推進項目の推進と会員間マッチングサポート

I 推進項目の推進

- ・「推進項目」（5～8頁）に沿って、各団体・企業等それぞれがデジタル化を推進。

II 会員間マッチングサポート※中小企業や団体向けサポートを「協議会の会員間」で実施するイメージ

(i) 概要

- ・推進項目に取り組むにあたり、サポートしてほしいことがある協議会会員とノウハウ等を持つ協議会内デジタル分野企業等をマッチングして、その取組を支援。
- ・現時点で9会員よりサポート希望あり。
- ・詳細は「会員間マッチングサポート一覧」参照（次ページ）

(ii) サポートの流れ

- ・一覧の組み合わせに沿って、ヒアリング等実施⇒サポート案の検討⇒具体的なサポート実施の流れを進める。
- ・項目によっては複数企業がサポート。その場合、項目の枠の1番上に記載される企業が主となって調整を進める。
- ・デジタル推進協議会設立初年度であることを踏まえ、ヒアリング等の結果、今年度見送り、次年度対応でも可とする。

(iii) サポートに要する経費

- ・サポートする側・される側で協議。
- ・国、県、市の補助金等も積極的に活用。（補助金等については事務局へ相談）

No.	組織名	サポートしてほしいこと	サポート担当のデジタル分野企業等
1	福島市商店街連合会	<p>①取組みに関わる各個店に対するマンツーマンもしくは少人数制でのサポート</p> <p>②キャッシュレス化に関する理解の醸成と導入推進へのサポート</p> <p>③SNS運営やWEBサイトを制作することで自店の情報発信したり情報発信スキルの向上へのサポート</p>	<p>①②③担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島カラー印刷(株) ・NTT東日本福島支店 ・(株)インフォメーション・ネットワーク福島 ・朝日システム(株)
2	福島市自治振興協議会連合会	<p>①各町内会の環境の違い（世帯数・活動状況等）のある中で効率的なデジタル化の進め方</p> <p>②各町内会及び会員向けの情報リテラシー教育の援助（デジタルのメリット・デメリット）</p> <p>③町内会・会員のデジタル環境（アプリ）の違いに対応したデジタル推進</p> <p>④福島市による電子町内会WEBサイトの立ち上げのフォローアップ</p>	<p>①担当：NTT東日本福島支店 朝日システム(株)</p> <p>②担当：(株)福島県中央計算センター</p> <p>③担当：NTT東日本福島支店 朝日システム(株)</p> <p>④担当：(株)インフォメーション・ネットワーク福島</p>
3	福島市地域包括支援センター連絡協議会	<p>①スマホ教室などを開催する際の講師の派遣（住民向け）</p> <p>②情報管理、セキュリティ等に関するアドバイス（職員向け）</p>	<p>①担当：福島市 ⇒次年度、講師派遣や出前講座等の開催を調整。</p> <p>②担当：NTT東日本福島支店 朝日システム(株)</p>
4	ふくしま未来農業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくしまの“農業”の魅力発信へのアドバイス 	<p>担当：福島カラー印刷(株) NTT東日本福島支店 (株)インフォメーション・ネットワーク福島 朝日システム(株)</p>
5	福島市教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・企業間でオンラインによる研修や企画を行った経験を基に、学校間での授業研究会をする際の効果的な環境や通信方法、機材についてのアドバイス。 	<p>担当：NTT東日本福島支店</p>
6	福島市私立幼稚園協会	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルで情報を伝えるための手段や方法についてのアドバイス。 	<p>担当：(株)福島県中央計算センター (株)インフォメーション・ネットワーク福島</p>

No.	組織名	サポートしてほしいこと	サポート担当のデジタル分野企業等
7	福島交通(株)福島支社	・デジタル化に伴う、国・県の補助事業の共有化。	担当：福島市 ⇒10月26日に運用開始した「マイクロソフト Teams」で令和5年度国補助事業等の情報を提供済み。今後も最新の情報を提供。
8	福島市観光コンベンション協会	・事業者向けのデジタル化サポート（メールやLINE等の情報伝達手段の推進、SNS等の自社情報発信）	担当：福島カラー印刷(株) NTT東日本福島支店 (株)インフォメーション・ネットワーク福島 朝日システム(株)
9	福島市シルバー人材センター	①センター運営事務の効率化に向けたアドバイス ②シルバー人材センター会員を対象としたICT講習会への講師派遣等	①担当：(株)福島県中央計算センター ②担当：福島市 ⇒今年度市で実施する「高齢者等スマートフォン活用支援講座」を一部組み換え、シルバー人材センターを会場に4回（11月10・14・16・17日）スマホ活用講座を実施。

(2) - ②分科会の設置

◆ふくしまデジタル推進協議会

- 市、団体、企業、大学等16分野の代表者等25名で構成
- 会長：福島市長 副会長：福島商工会議所会頭 渡邊博美
- ・コロナ後を見据え、専門的な知見等を活かし全体を俯瞰した大所高所の幅広い視点で、デジタル化の方向性等について議論し、地域全体のデジタル化を推進。

◆デジタル推進者会議

- 推進協議会の「実行組織」
- 推進協議会を構成する団体、企業等から選出された「デジタル推進者」で23名で構成
- 座長：福島市情報政策監兼デジタル改革室長
- ・会員間での情報発信・共有等を通じて地域全体・分野毎個別のデジタル化を推進。
- ・先導的なプロジェクトの検討・推進。

◆分科会

先導的プロジェクト開発分科会(R4.11.8設置)

- メンバー
- 井高（医大）、勝瀬（商工会議所）、幕田（認可保育施設連合会）、齋藤（私立幼稚園協会）、奥田（市商連）、岸波（自治振）佐藤（NTT）、瀧澤（FCC）、岡崎（INF）、高橋（朝日システム）及び事務局

(今後)
例えば、
デジタル人材育成
分科会

(今後)
例えば、
デジタルリテラ
シー向上分科会
(学生、管理職、経営者等へのDX教育機
会の提供等含む)

- ①第1弾として「先導的プロジェクト開発分科会」設置。
- ②この他にも今後、推進者会議メンバーからの意見等を踏まえ、テーマに応じた少人数の分科会を立ち上げ、具体的な取組内容を検討し、推進者会議、推進協議会に諮りながらデジタル化を推進。
- ③分科会の事務は、推進者会議会員で分担。

(2) - ③先導的プロジェクト

○デジタル推進協議会の柱のひとつとして、国交付金（下記の図）を活用して市民の暮らしの利便性向上や地域の課題解決・魅力向上を図る**本市独自の先導的なプロジェクト**を開発し、推進する。



デジタル実装タイプ^o（仮称）TYPE1/2/3の全体像について

（デジタル田園都市国家構想交付金次回の制度(案)に係る説明会(10/4)配布資料より抜粋）

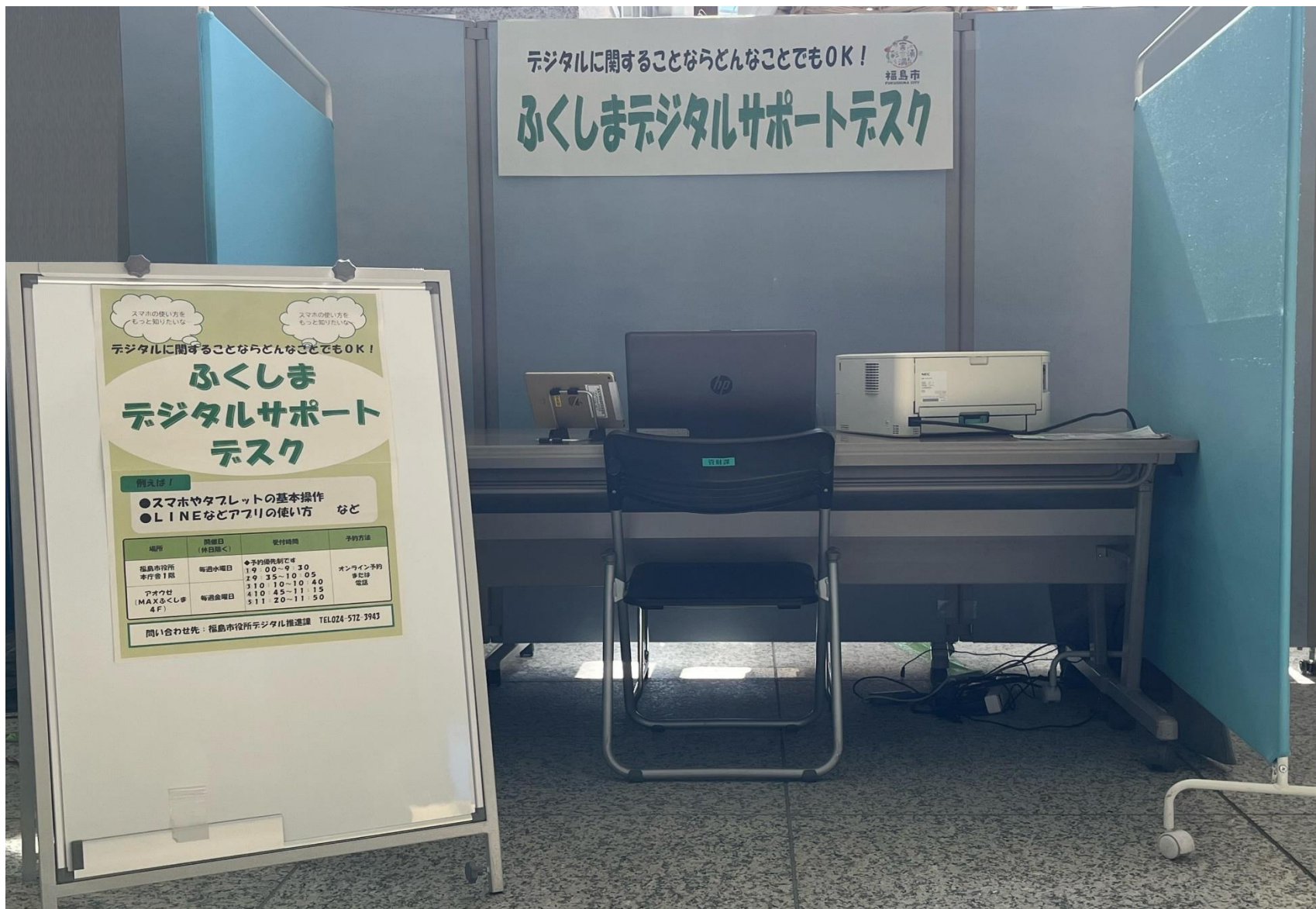
目的	デジタルを活用した意欲ある地域による自主的な取組を応援し、「デジタル田園都市国家構想」を推進するため、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けた地方公共団体の取組を交付金により支援									
概要	デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上に向けて、以下の事業を行う地方公共団体に対し、その事業の立ち上げに必要な経費を支援 【TYPE1】他の地域等で既に確立されている優良なモデル・サービスを活用して迅速に横展開する取組 【TYPE2】オープンなデータ連携基盤を活用し、複数のサービス実装を伴う、モデルケースとなり得る取組 【TYPE3】（TYPE2の要件を満たす）新規性の高いマイナンバーカードの用途開拓に資する取組 ※R4補正限りの時限措置として、[マイナンバーカード利用横展開創出型]を創設（国費3億円、マイナンバーカード申請率7割以上を申請要件）									
共通要件	①デジタルを活用して地域の課題解決や魅力向上に取り組む ②コンソーシアムを形成する等、地域内外の関係者と連携し、事業を実効的・継続的に推進するための体制を確立									
詳細	<p>＜TYPE別の内容＞</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center; width: 150px;"> <p>マイナンバーカード 高度利用型 【TYPE3】</p> </div> <div style="margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center; width: 150px;"> <p>データ連携基盤活用型 【TYPE2】</p> </div> <div style="margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center; width: 150px;"> <p>優良モデル導入支援型 【TYPE1】</p> </div> <div style="margin: 5px 0;">↓</div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center; width: 150px;"> <p>計画策定 支援事業</p> </div> </div> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center;">カードの 新規用途開拓</td> <td style="text-align: center;">国費：6億円 補助率：2/3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">データ連携基盤を活用した、複数のサービス実装を伴う取組</td> <td style="text-align: center;">国費：2億円 補助率：1/2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">優良モデル・サービスを活用した実装の取組</td> <td style="text-align: center;">国費：1億円 補助率：1/2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">デジタル実装に取り組もうとする地域の計画づくりを支援</td> <td style="text-align: center;">委託事業</td> </tr> </table> <p>※申請上限数：都道府県 9事業 市町村 5事業</p>	カードの 新規用途開拓	国費：6億円 補助率：2/3	データ連携基盤を活用した、複数のサービス実装を伴う取組	国費：2億円 補助率：1/2	優良モデル・サービスを活用した実装の取組	国費：1億円 補助率：1/2	デジタル実装に取り組もうとする地域の計画づくりを支援	委託事業	<p>＜対象事業（一例）＞</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【TYPE3】 マイナンバーカードで各種市民サービスを利用（図書館利用や避難所の受付等）</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【TYPE2】 複数分野データ連携の促進による共創型スマートシティ（会津若松市）</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【TYPE1】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>書かない窓口</div> <div>地域アプリ</div> <div>医療MaaS</div> <div>ドローン配送</div> <div>遠隔医療</div> </div> </div> <p>＜その他の新規要素＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの利活用促進、スタートアップの活用促進など、国の重要施策を推進する観点からの一定の優遇措置 ・KPI（デジタル実装1,000団体）達成に向けたボトムアップ支援
カードの 新規用途開拓	国費：6億円 補助率：2/3									
データ連携基盤を活用した、複数のサービス実装を伴う取組	国費：2億円 補助率：1/2									
優良モデル・サービスを活用した実装の取組	国費：1億円 補助率：1/2									
デジタル実装に取り組もうとする地域の計画づくりを支援	委託事業									

国交付金名 (タイプ)	取組	スケジュール								
		R4年 10月	R5年 1月	4月	7月	10月	R6年 1月			
デジタル田園 都市国家構想 交付金 (デジタル 実装タイプ TYPE2/3)	<u>先導的プロジェクト 開発・推進</u>	視察	※自走化に向けた検討を進める		分科会活動	データ連携 基盤検討	分野別 詳細検討	予算化	事業 詳細化	R6年度 事業 (予定)

(2) - ④デジタルサポートデスク

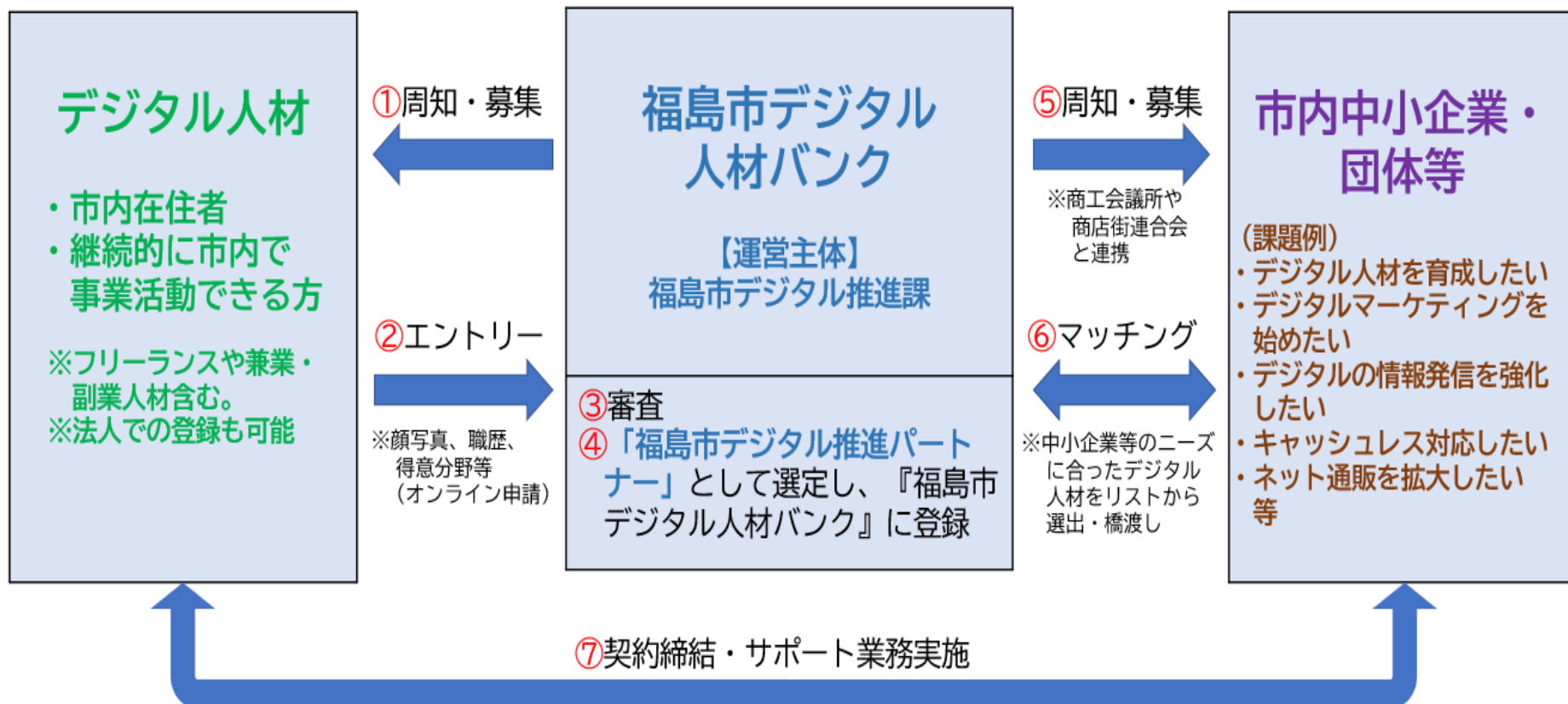
対象者	高齢者等デジタル活用に不慣れな方
相談内容	デジタルに関することならどんなことでもOK (例) ①スマホやタブレットの基本操作 ②LINEなどアプリの使い方 等 ※スマートフォン利活用支援講座を受講された方のフォローアップも兼ねる。
開設場所 (2カ所)	①市役所1階正面入り口左手 ②アオウゼ (MAXふくしま4階) 事務所隣の中央通路
開設時期・開設曜日	令和4年12月14日(水)より開設 ※12月1日より予約申込開始 ①市役所1階：毎週水曜日 ②アオウゼ：毎週金曜日
概要	受付スタッフ：1名常駐 定員：1日5名 時間：①9:00~9:30 ②9:35~10:05 ③10:10~10:40 ④10:45~11:15 ⑤11:20~11:50 ※予約優先制 (予約は、市LINE予約システムもしくは業務委託先へ電話)
業務委託先	業務委託先：福島県中央計算センター ※ふくしまデジタル推進協議会内デジタル分野企業

【参考】 ふくしまデジタルサポートデスクのイメージ



(2) - ⑤福島市デジタル人材バンク

○事業の内容：市内中小企業や団体が抱える課題をデジタルの力で解決する「福島市デジタル人材バンク」を設置する。〈事業の流れ：①～⑦〉 12/1(木)よりデジタル人材の募集を開始



※1：「契約」はデジタル人材と中小企業・団体間で締結

※2：サポートに係る「経費」はサポートを依頼する中小企業等が負担。市は、中小企業等が利用可能な支援制度を紹介。
【支援制度例】市「新たなビジネスモデル創出支援事業（デジタル化推進枠）」

デジタルで便利で豊かな新ステージへ ～福島市デジタル都市宣言(案)～

- 19 -

デジタル化は、コロナ禍を機に、新しい生活様式として急速に進展し、変革・成長の原動力としてその加速が強く求められています。

デジタルの活用は、一人ひとりのニーズにあった多様な選択を可能にするとともに、人手不足の解消、商品・サービスの開発・高度化、経営・財政の効率化に寄与します。

福島市は、市民共創で、高齢者にもやさしいデジタル化を推進し、市民生活と地域活動の全体にわたってデジタル化を浸透させていきます。そして、人とデジタルの融合のもとで、市民生活をより便利で快適に向上させるとともに、産業振興など地域の活性化を図り、持続的に発展する都市を形成していきます。

福島市は、次の3つの戦略に基づき、「デジタルで便利で豊かな新ステージ」を目指すことをここに宣言します。

【デジタル都市に向けた3つの戦略】

- 1 デジタルを活用した市民サービスの向上と行政の高度化・効率化
- 2 デジタルを活用した市民生活を豊かにするまちづくりと産業振興
- 3 市民共創で高齢者にもやさしいデジタル化

令和4年11月30日

ふくしまデジタル推進協議会 会長

福島市長 木幡 浩

【新】福島市デジタル推進体系（案）

R4.11.30現在

